



# 学習指導案「もしも自分だったら」（がん編）

|         |  |
|---------|--|
| 対象学年    | 小学校5学年・6学年   |
| 活用可能な単元 | 保健体育（保健領域）「病気の予防」「がん教育」<br>理科「人の体のつくりと働き」<br>道徳「相互理解、寛容」   |
| ねらい     | (1) 「がん」の知識を得る。<br>(2) 「がん」患者さんの気持ちを想像してみる。<br>(3) 自分の行動を振り返り、今後の行動目標を立てる。   |
| 準備      | PC、モニター（またはプロジェクター/スクリーン）、授業用タブレット   |
| テーマの背景  | 現在、日本人の2人に1人はがんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。がんの発生については、ウイルス感染によって子宮頸がんや肝臓がんがおこることや、ピロリ菌感染で胃がんがおこること、喫煙が多いのがんに関連しているなど明らかになっています。しかし、がんの多くは原因不明であり、誰でもがんになる可能性があります。がんの正しい知識の習得を通じて病気を理解し、がん患者さんとともに生きる社会を過ごす上で、がんについて授業で取り上げることに意義があると考えます。 |

|            | 学習活動   | 教材   |
|------------|--|--|
| 導入<br>5分   | 子どもたちが「がん」について知っているかを問い、知っていることを確認する。<br>【発問】知っている「がん」はあるか。どんなことを知っているか。   | 「ワークシート」（配布）   |
| 展開1<br>5分  | <b>1. 「がん」について調べてみよう</b><br>「病気のしくみ」>「がん」に誘導<br>▶ワークシートに記入<br>・「がん」について知っていることを記入する<br>・資料からわかったことを記入する  | 図解：病気のしくみ<br>      |
| 展開2<br>15分 | <b>2. 「がん」の人の気持ちを考えてみよう</b><br>マンガ「もしも自分だったら」>「がん編」に誘導<br>【発問】「がん」患者さんは、どんな気持ちなんだろう。もしも自分だったらと想像してみよう。<br>▶ワークシートに記入<br>・もしも自分ががん患者さんだったら、人からされて「嫌なこと」「うれしいこと」、「やってほしいこと」はどんなことを記入する<br>※モニター表示の場合は、クラスで一緒に読み進める | マンガ：もしも自分だったら<br> |
| 展開3<br>10分 | <b>3. グループで、「がんについて考えたこと」をもとに、自分たちの行動の目標を立てよう</b><br>▶個人ワークシートをもとにグループ討論<br>・自分たちの行動の振り返り<br>・これからの目標  |  |
| まとめ<br>10分 | <b>4. 行動目標を発表しよう</b><br>▶グループまたは代表者が発表   |  |